

2016年12月8日

KBI Biopharma, Inc.の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する KBI Biopharma, Inc.（本社：米国ノースカロライナ州ダラム、President：Timothy M. Kelly、以下「KBI」）の全株式について、JSR 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小柴満信、以下「JSR」）およびシミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：中村和男、以下「シミック」）に譲渡することを決定しましたのでお知らせ致します。譲渡後は、JSR が KBI の株式の 90%を、シミックが 10%を保有することになります。

バイオ医薬品は、化学合成で製造する低分子医薬品に比べて効果が高く副作用が少ないとされていますが、その開発・製造受託市場は、8割以上を米国、欧州が占めており、日本は数パーセントに留まっていた。そのような状況のもと、日本・アジアにおけるバイオ医薬品の開発・製造受託サービス、バイオプロセス事業などの事業展開を加速するために、2015年3月、INCJ、JSR、シミックは共同で、米国のバイオ医薬品開発・製造受託会社である KBI を買収しました。

買収後、KBI は大手製薬メーカーに加え、バイオベンチャーやアカデミアからの受注も増えるなど、当初計画通り、事業は順調に進んでいます。一方、JSR では石油化学系事業・ファイン事業に続く第三の柱としてライフサイエンス事業の拡充に取り組んでおり、今回の株式譲渡を受けて、KBI の成長のみならず、ライフサイエンス事業と KBI とのシナジー創出を加速します。また、シミックも、KBI の日本・アジアへの展開に向けた支援にとどまらず、バイオ医薬品への取り組みをより一層強化します。INCJ は、今後、KBI の更なる事業発展のためには、その経営を事業会社に委ねることが適切であるとの判断から、今回、保有する KBI の全株式を JSR およびシミックに譲渡することとしました。

参考) INCJ は、2015年2月に「JSR 株式会社、シミックホールディングス株式会社とともに米国のバイオ医薬品開発・製造受託会社 KBI Biopharma Inc.の買収を決定」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1424913625.01.pdf>

KBI Biopharma, Inc. (ケービーアイ バイオファーマ インク) について

設立 1996 年
事業内容 バイオ医薬品の分析・開発受託
所在地 米国ノースカロライナ州ダーラム
代表者 President: Timothy M. Kelly (ティモシー エム ケリー)
URL <http://www.kbibipharma.com/>

JSR 株式会社について

設立 1957 年 12 月
事業内容 石油化学系事業、ファイン事業、ライフサイエンス事業、他
所在地 東京都港区
代表者 小柴満信
URL <http://www.jsr.co.jp/>

シミックホールディングス株式会社について

設立 1985 年 3 月
事業内容 医薬品等の開発・製造・営業支援等
所在地 東京都港区
代表者 中村和男
URL <http://www.cmhc-holdings.co.jp/>

株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階
電 話 : 03-5218-7202 URL : <http://www.incj.co.jp/>

[別紙]

1. 対象事業会社

KBI Biopharma, Inc.(以下、「KBI」)

- ・設立 : 1996 年
- ・代表者 : Timothy M Kelly
- ・所在地 : 米国ノースカロライナ州ダーラム
- ・事業内容 : バイオ医薬品の分析・開発受託

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額: 50 百万 USドル(上限)
- ・実投資額: 44 百万 USドル
- ・共同投資家: JSR 株式会社(以下、「JSR」)、シミックホールディングス株式会社(以下、「シミック」)
- ・株式保有割合: 44%
- ・支援決定公表日: 2015 年 2 月
<https://www.incj.co.jp/news/assets/1424913625.01.pdf>
- ・投資ストラクチャー図:
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1427702093.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

バイオ医薬品は、化学合成で製造する低分子医薬品に比べ効果が高く副作用が低いとされていますが、その開発・製造受託市場は 8 割以上を米国、欧州が占めており、日本は数パーセントに留まっています。

そのような状況のもと、2015 年 2 月、INCJ、JSR、シミックは共同で、米国のバイオ医薬品開発・製造受託会社である KBI を買収すると公表しました。バイオ医薬品の中でも最も有望視される抗体医薬分野において、世界最先端である米国の技術・ノウハウをその事業基盤とともにわが国に取り込むことで、日本・アジアにおけるバイオ医薬品の開発・製造受託サービス、バイオプロセス事業などの事業展開の加速を図りました。

(2) 事業の進捗

買収後、KBI は大手製薬メーカーに加え、バイオベンチャー企業やアカデミアからの受注も増えるなど、当初計画通り同社の事業は順調に進捗しております。

共同投資家の JSR は、ライフサイエンス事業を石油化学系事業・ファイン事業に続く第三の柱として位置づけ、KBI の事業成長を支援するとともにシナジーの創出を加速させます。一方、シミックも

KBI の日本・アジア地域への展開支援にとどまらず、低分子医薬品向け事業で培ったサービス・品質管理のノウハウを活かして、バイオ医薬品への取り組みも一層強化しています。

(3)Exit の経緯・内容

上記のとおり、買収後の KBI の事業は順調に進捗しており、今後、JSR とシミックが協業して、抗体医薬品の CDMO* 事業を展開することで、プロセス材料、開発プロセス、受託サービスというバリューチェーンの一体化が促進され、さらなるオープンイノベーションに繋がることが期待されるため、INCJ は、当初予定通り、2016 年 12 月、保有する KBI の全株式を JSR とシミックに譲渡し、その経営を両事業会社に委ねることとしました。

* CDMO : Contract Development & Manufacturing Organization

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

意見なし。